

授業概要

『平家物語』の前半を読みます。『平家物語』は貴族の時代から武士の時代へと、政治や社会状況が大きく変動した時期の出来事に基づいて作られた軍記物語です。つまり、〈歴史〉を素材とする作品と言えますが、その内容や描き方には〈虚構〉が多く含まれ、必ずしも〈史実そのまま〉を写した作品とは言えません。この授業では、『平家物語』の諸段をくわしく読んで、その内容を理解するとともに、歴史的な事実と照らし合わせることで、『平家物語』の描き方にどんな特徴があるのかを考え、『平家物語』が何を描こうとしたのかについて掘り下げたいと思います。

授業計画

第1回	ガイダンス 『平家物語』の概要
第2回	歴史状況の概要と『平家物語』諸本の説明
第3回	「殿上閤討」を読む
第4回	「殿上閤討」の背景 平家の家系と武士の位置
第5回	「鱸」「禿」を読む
第6回	「二条后」を読む 保元・平治の乱後の政治情勢
第7回	「殿下乗合」を読む
第8回	「殿下乗合」の歴史的事実
第9回	「鹿谷」を読む
第10回	「鹿谷」の歴史的事実
第11回	「鹿谷事件」のその後 平清盛と後白河院
第12回	「源氏揃」を読む 「以仁王事件」の概要
第13回	「信連」を読む
第14回	「競」を読む
第15回	「競」の歴史的背景
第16回	定期試験

到達目標

- ①現代語訳の助けを借りながら、古典語の文章で物語の内容を読み進められる。
- ②文学作品と歴史資料の比較を通して、文学作品の特性を理解できる。

履修上の注意

古典語の作品を読むことに少し困難を感じるかもしれませんが、状況の中で躍動する当時の人々の姿を読み取っていくことに主眼を置きます。作品の読解に必要な知識は授業内ですべて説明するので、古典についての知識がなくても心配いりませんが、物語の展開に対する好奇心は持ってってください。

予習・復習

予習は必要ありませんが、第9回に記述式の小テスト（所要時間 40 分程度）を行うので、ノートを取り、しっかり復習しないと、小テストをクリアできません。

評価方法

小テスト 30%、定期試験 70%として判断します。

テキスト

梶原正昭・山下宏明『平家物語 一』（岩波文庫、1091 円）

佐藤謙三校注『平家物語上』（角川ソフィア文庫、778 円）など、『平家物語』前半部が見渡せるものであれば、それでもかまいません。また、授業ではA3版のプリントを配布します。ファイルを準備してください。